

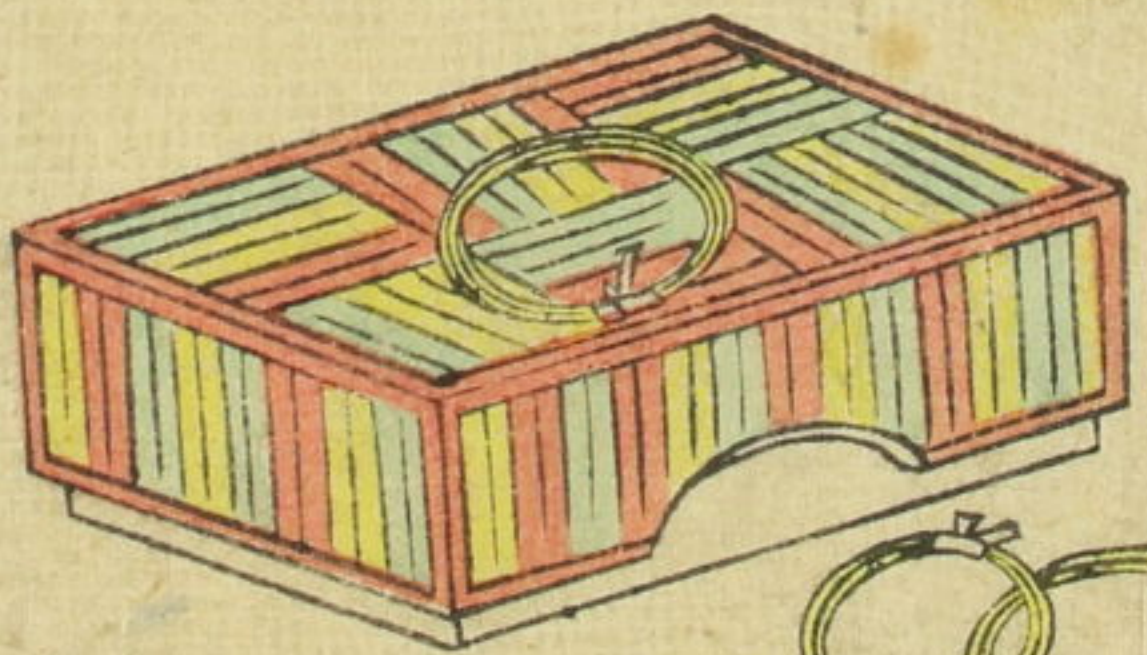
鼠初

梅三子
種三子 著
梅三子
園久 畫
第四編

淑子の内
音志め

志
初
乃
合

紅
字
聖
版
元



へ 13
3697
4





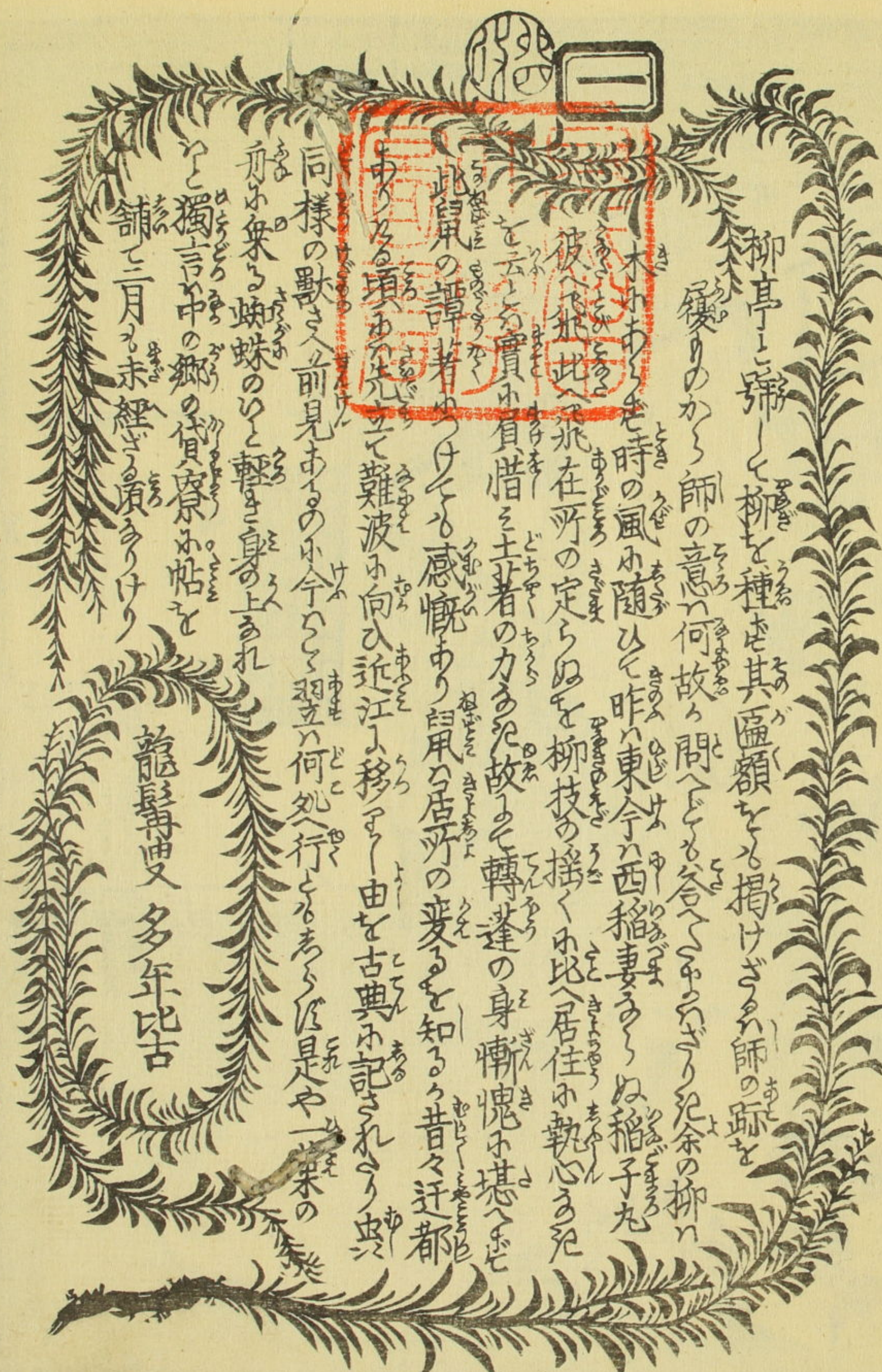
柳
花
枝

四編上



門へ13
 號 3697
 卷 4

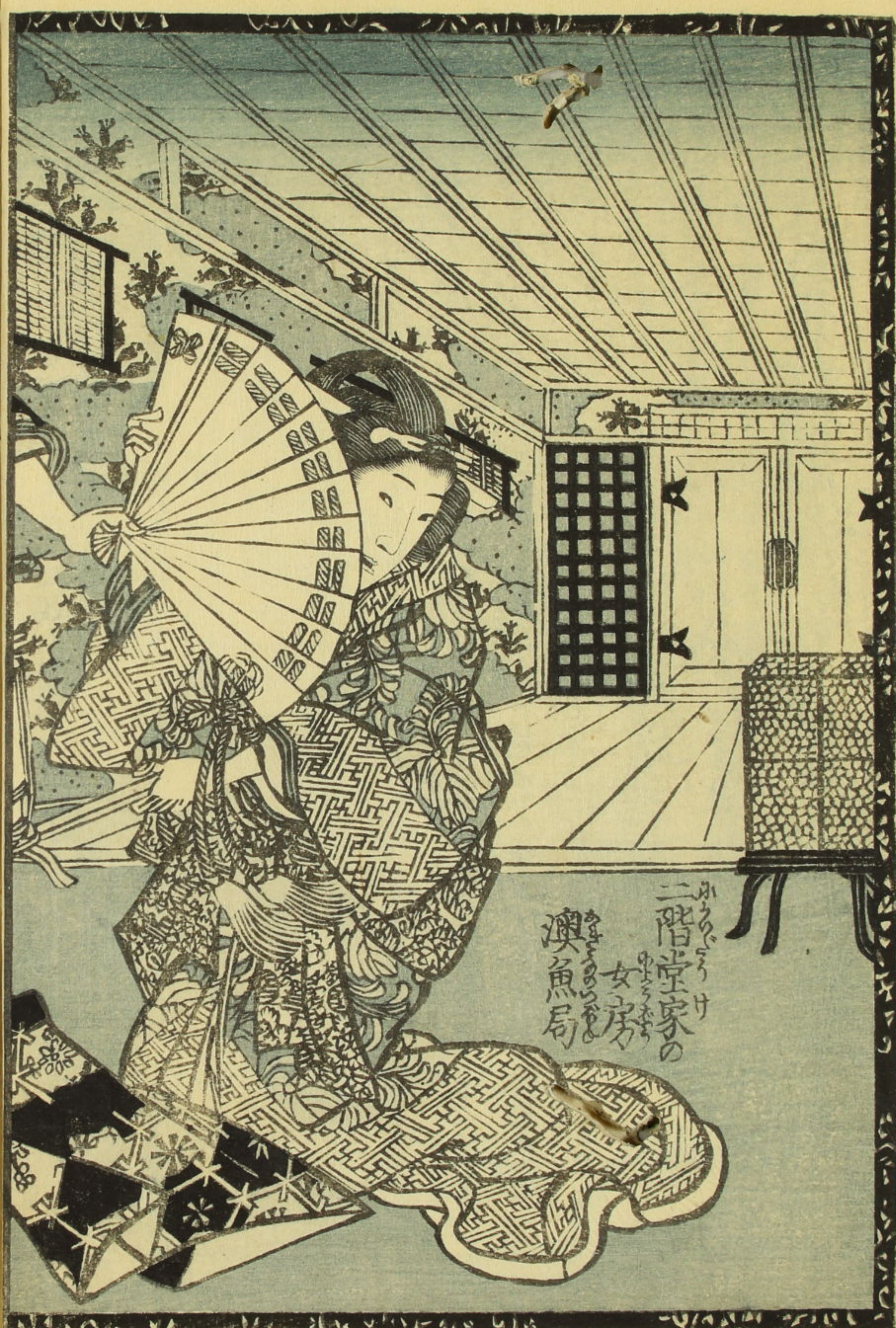
柳亭
 柳亭と稱しと柳を種を其區額をも掲げざり師の跡を
 履ののから師の意の何故か問へども答へずり余の柳の
 木ありし時風の随ひて昨日東今西稻妻ありぬ稻子丸
 彼へ此へ飛在河の定らぬを柳枝の揺く小比へ居住の執心るは
 と云ふは實小負惜と士者の力多た故と轉蓬の身慚愧不堪へと
 此鼠の譚者ゆけとも感慨あり鼠用居河の變るを知る昔々遷都
 ありたる頃ありしと難波の向ひ近江へ移り由を古典小記されり虫
 同様の獸さ前見あるの小今とて羽立の何処行ともあらは是や一葉の
 舟小乗る蜘蛛のいと輕き身の上あれ
 ひと獨言中の郷の賃寮小帖を
 舖て二月も未経さるるけり
 龍鬚更又多年比古



鼠司四



和泉見
素
黒
公子小
扮つ



二階堂家の
女房
澳魚局



On the left side of the page, there is a column of vertical Japanese text. The text is written in a cursive style and appears to be a dialogue or a narrative related to the scene above. The characters are small and densely packed.

On the far left edge, there is a small vertical column of text, possibly a page number or a chapter indicator.



On the right side of the page, there is a column of vertical Japanese text. The text is written in a cursive style and appears to be a dialogue or a narrative related to the scene above. The characters are small and densely packed.

On the far right edge, there is a small vertical column of text, possibly a page number or a chapter indicator.



カサハシ
カサハシ
カサハシ

カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ

カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ

カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ



カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ

カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ
カサハシ

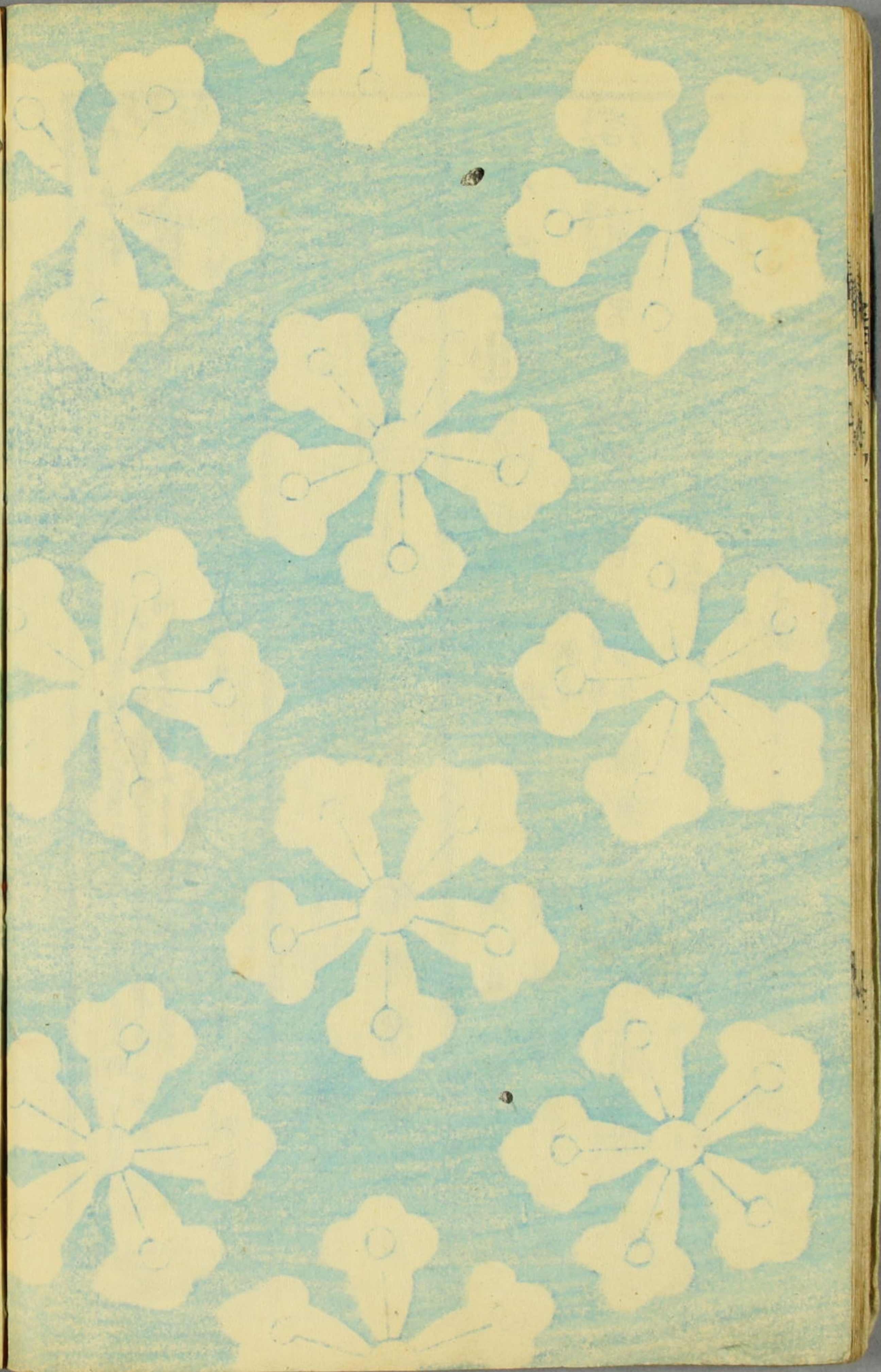
海つみ
のほろろ
つちまの
かゝり

梅子酒
くらまの

書



四節下





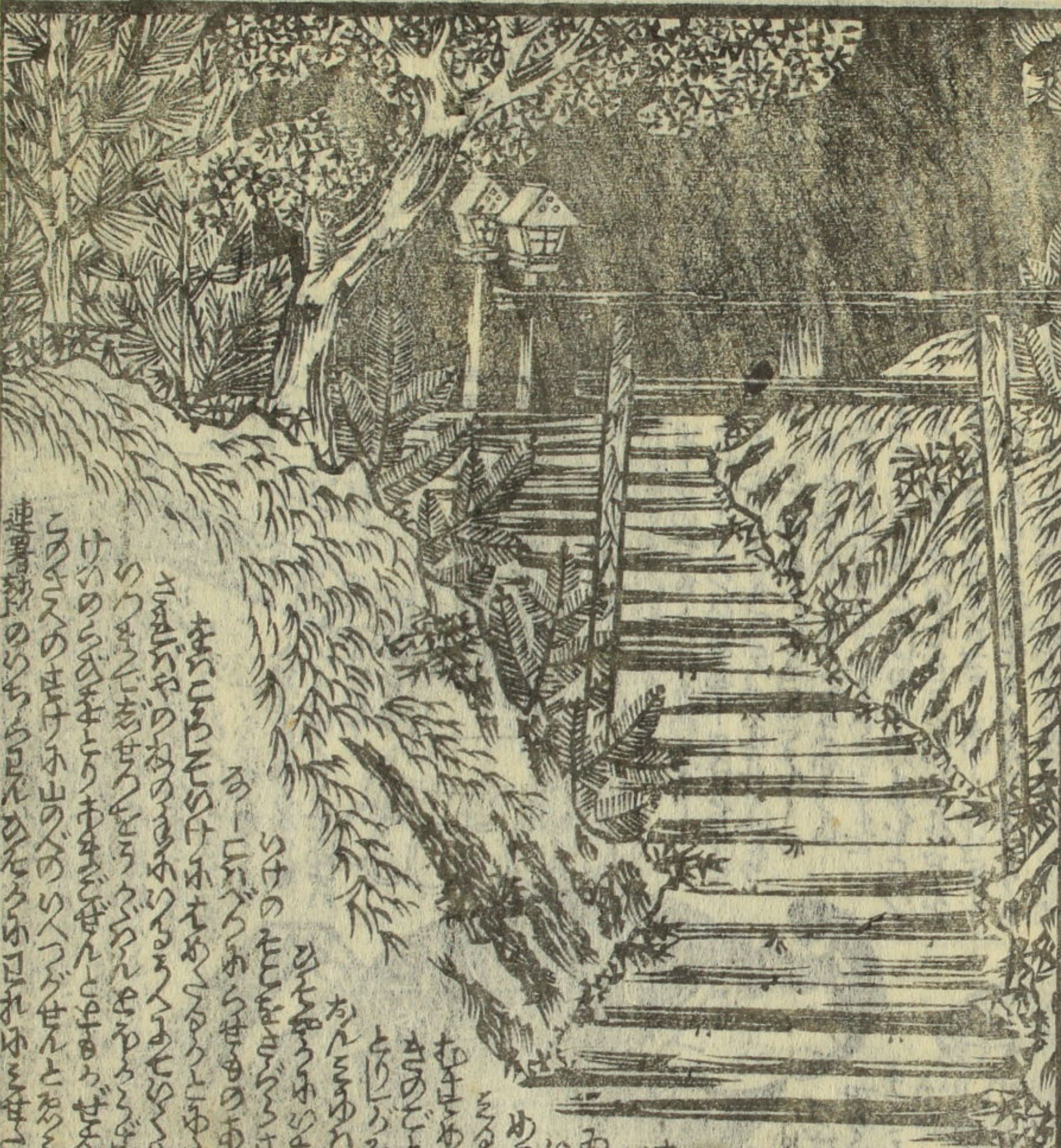
月 四

十一



月 六

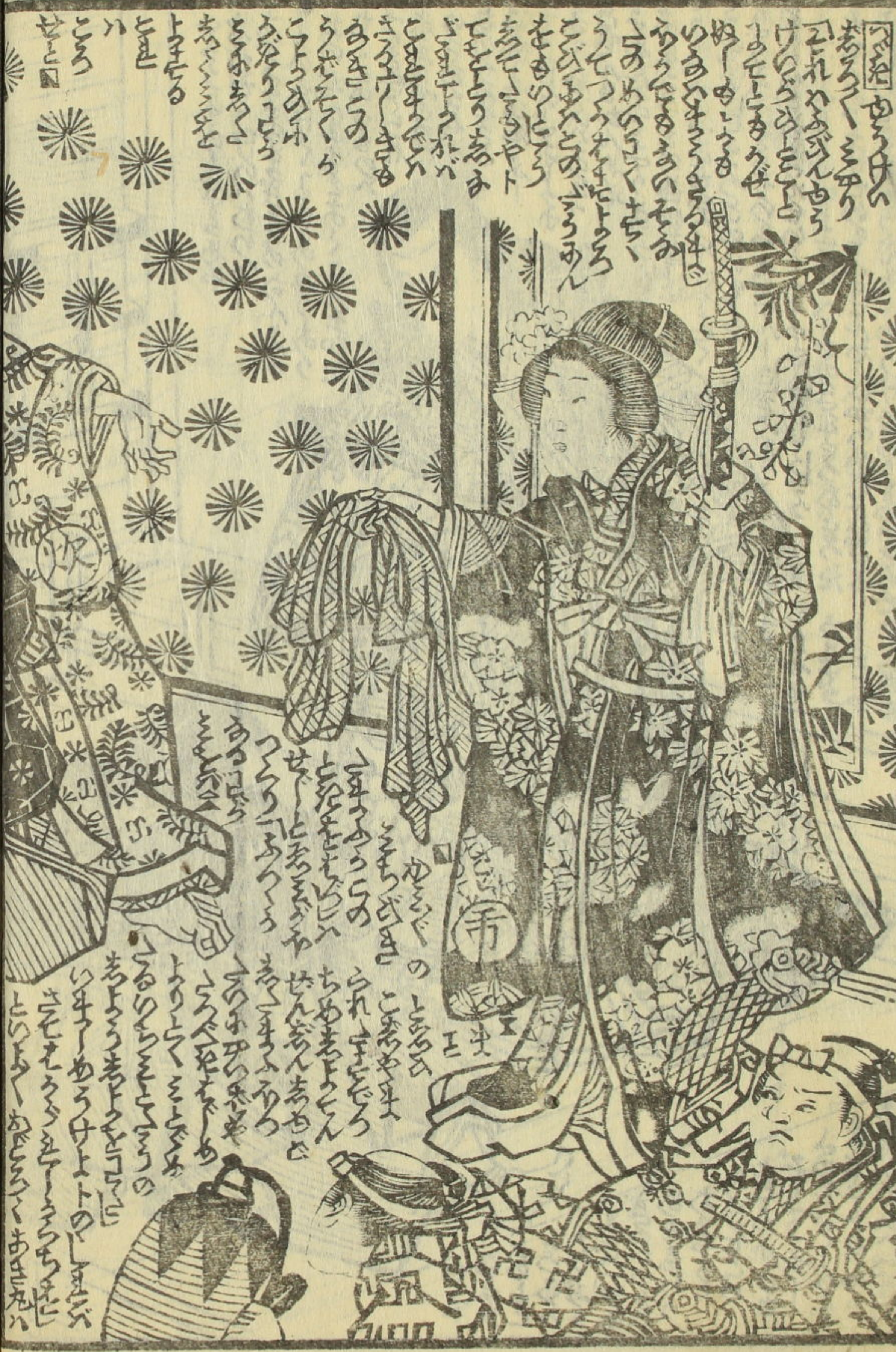
一



此の園路は、
 昔の御代より
 ありしに、
 今もその
 趣を留め、
 静かなる
 庭園の
 趣を、
 今も
 傳へて
 置る。



此の御代より
 ありしに、
 今もその
 趣を留め、
 静かなる
 庭園の
 趣を、
 今も
 傳へて
 置る。



此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 人の心は
 変わらぬ
 事なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 人の心は
 変わらぬ
 事なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 人の心は
 変わらぬ
 事なり



此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 人の心は
 変わらぬ
 事なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 人の心は
 変わらぬ
 事なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 人の心は
 変わらぬ
 事なり



七好き葛藤譚

柳亭種彦作

室町源氏胡蝶巻

種彦作

筆海内國聞書

種彦作

假名情談戀睡書

種彦作

明徳天皇御成吉思

種彦作

童謡妙々車

種彦作

花封谷百音

種彦作

薄倖幻日記

種彦作

大傳大の双紙

種彦作

地本双紙問屋

葛屋吉藏板



三十一

三十一

